【議案第 1 号】
第 15 回総会 2026 年 9 月 15 日

2025 年度事業報告

自　2025 年 7 月 1 日　　至　2026 年 6 月 30 日

【真宗保育理念】　「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】　「ともに生き　ともに育ちあう保育を実践しよう」

【基本認識】

当協会の事業は、全国 419 施設、約 4 万人の在園児とその保護者及び関係者が関わる保育現場において展開された。これらの事業は、真宗大谷派の青少幼年教化事業の流れを受け継ぎ、協会関係者に限定されることなく、広く社会に開かれた公益的な活動として実施した。

また、社会が大きく変化する状況の中にあって、あらためて「真宗保育」の理念に基づく協会の公益性を問い直し、その実現を課題として各種事業を展開した。

＜研修テーマ「あそぶ-環境を考える-」＞

「第 20 回全国真宗保育研修大会 in 東京」（2025 年 5 月 10 日開催）において、新たな研修テーマ「あそぶ ― 環境を考える ―」を発表した本テーマの実践年度 2 年目として、研修を実施し、その普及に努めた。

＜保育心理士会の一層拡充＞

大谷保育協会が目指す、保育、幼児教育の具体的な内容として「真宗保育、心理学習を基本とした保育者の専門性の向上」がある。

一人ひとりの発達に合わせて、細やかに、子どもたちや保護者に向き合い、心のケアまでをカバーできる保育の専門家「保育心理士」を養成するための資格取得講座を広く公開し実施した。

なお、「保育心理士資格取得講座」は、厚生労働省が定める「保育士等キャリアアップ研修」の「障害児保育」及び「保護者支援・子育て支援」に位置付けて実施した。

【重点施策】

（1）『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

①『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修事業や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組んだ。

②真宗保育テキストの制作

真宗大谷派学校連合会と共同し、真宗保育テキストの制作を進めた。テキストの正式名称は『ともにそだちあういのち―真宗保育の願い―』に決定した。

校正も進み、9 月には発刊の予定。

（2）「あそぶ-環境を考える-」をテーマとした研修計画の実践

研修テーマ「あそぶ-環境を考える-」を諸研修に通底するテーマとし、各連区・支部においても同テーマでの研修会の開催を奨励した。

（3）宗派の青少幼年教化事業との連携

公益性をもって取り組まれてきた協会の実践や知見をもって、宗派の青少幼年教化事業との連携をすすめた。

（4）宗派の定期刊行物等での課題発信

青少幼年層や子育て世代が、現代社会において抱える課題は、ますます多様化し深刻なものも多い。まずは、宗派の定期刊行物などの機会を最大限に活用し公益社団法人として存在する協会としてより一層の課題発信に努めていく。

（5）保育心理士の育成並びに活動支援の充実

①保育心理士の育成

「心に寄り添う保育者」を目指して 2000 年度より始まった保育心理士資格認定事業は、これまで 4,574 名の保育心理士を認定している。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には 5 年以上の現場経験を有する一種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる二種がある。

2025 年度は、対面形式に開催する京都会場、e ラーニング（ﾗｲﾌﾞ形式・ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ形式）での資格取得講座を開催した。

また、保育心理士エリアマネージャーと連携し、地方における保育心理士フォローアップ講座の開催を促した。

②保育心理士養成校の拡充

保育心理士（二種）養成課程を設置する大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組んだ。

【一種】同朋大学大学院

【二種】九州大谷短期大学、京都光華大学（前：京都光華女子大学）、同朋大学、飯田短期大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学

③保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりをめざす。

【これまでに認定された都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

④保育心理士の活動の充実、および保育心理士各種手続きの IT 化

エリアにおける保育心理士の活動支援の充実のため、保育心理会公式 LINE サービズを利用し、保育士心理士エリアマネージャーと連携し、エリアにおけるフォローアップ講座の情報を保育心理士に届け、エリアにおける保育心理士の活動充実を図った。

また、これまで保育心理士の各種手続きの IT 化を図り、事務手続きの効率化を図った。

Ⅰ　幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅰ－1　幼児教育及び保育に関する調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについての研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

（１）基礎研究

① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。

② 真宗大谷派学校連合会の加盟校（大谷大学・九州大谷短期大学・光華女子大学・同朋大学・大阪大谷大学・函館大谷短期大学・帯広大谷短期大学）の教員を交えて、真宗保育テキスト『ともにそだちあういのち―真宗保育の願い―』の作成を進めた。

③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を真宗保育研究所と協会各部門とが連携しながら考えていく。教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの連携推進を図った。

（２）臨床研究

① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。

・第 18 回保育心理研究会
期　　日：2026 年 2 月 1 日（日）
会　　場：大谷大学
参 加 者：146 名
■記念講演：藤原里美 氏（一般社団法人チャイルドフッド・ラボ 代表理事）
■分科会
◆テーマ　寄り添う保育 ― 子どもに、保育者に ―
（１）子どもは１ミリも変えない ― 子ども理解に立つ保育　講師：藤原 里美 氏
（２）保育者の自己認知からひらく子ども理解　講師：谷口奈青理 氏
（３）保育者の協働性から育む子ども理解　講師：目黒 達哉 氏

② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

Ⅰ　幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅰ－2　幼児教育及び保育に関する教材、書籍、研究誌の頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努めた。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催した。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行した。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布した。

（１）保育教材の頒布

① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
合掌人形　しんらんさま	650 円	550 円	500	57
うでわ念珠　青　子ども用	250 円	176 円	1,000	868
うでわ念珠　青　大人用	250 円	163 円	1,000	214
うでわ念珠　青　大人用	250 円	184 円	1,000	1,000
うでわ念珠　ピンク　子ども用	250 円	154 円	1,000	446
うでわ念珠　ピンク　大人用	250 円	163 円		314
白念珠	180 円	160 円		974
念珠袋	320 円	302 円	1,000	887
おつとめちょう	100 円	91 円		3925
八女ちょうちん	240 円	207 円	189	0
しんしゅうこどもかれんだー	370 円	341 円	5,000	0
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500 円	1,827 円		731
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000 円	859 円		525
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000 円	575 円		1,054
お誕生シール〈慶讃記念教材〉	110 円	108 円		2,654
サガエさんにきいてみよう	1,650 円	753 円		554

（２）新教材の発行

① 園児絵画展に応募された作品の中から選定した作品を掲載し、『しんしゅうこどもかれんだー』を発行した。

Ⅱ　幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ－1　幼児教育及び保育関係者に対する研修会事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めていく。

各連区・支部において、協会の研修に通底する研修「あそぶ―環境を考える―」での研修開催を奨励した。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行った。

(１)研究会・研修会事業

①　第 66 回仏教保育大学講座　事前学習会
期　　日：2025 年 7 月 14 日(月)
会　　場：真宗大谷派宗務所３階　第４・５会議室
参 加 者：仏教保育大学講座　指導員

②　第 66 回仏教保育大学講座
(浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗高田派共催)
対　　象：2 年目以上の保育者
期　　間：2025 年 8 月 1 日（金）～4 日（月）
会　　場：しんらん交流館・三木半旅館
講　　師：木越　康氏（大谷大学教授・大谷大学前学長）
　　髙木淳善氏（真宗保育研究所副所長・草津大谷保育園園長）
参加人数：63 名

③　新任研修会
期　　間：2025 年 9 月 24 日（水）～26 日（金）
会　　場：真宗本廟、しんらん交流館、大谷大学湖西キャンパス
講　　師：脇淵爾良氏（大谷保育協会研修部員、いわのだこども園園長）
　　髙山　耕氏（大谷保育協会研修部長、認定こども園みのり園長）
対　　象：1 年目の保育者
参加人数：7 名

④　主任・中堅保育者研修会
開催期日：2026 年 5 月 15 日（金）
開催方法：オンライン研修会（zoom）
講　　師：佐賀枝夏文氏（大谷大学名誉教授）
対　　象：主任・中堅保育者（保育経験５年以上）
参加人数：22 名
特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3 ポイント付与）

⑤　カリキュラム研修会
期　　間：2026 年 6 月 15 日（月）～16 日（火）
会　　場：山陽四国教務所・認定こども園船場御坊幼稚園・姫路船場別院
講　　師：冨岡量秀氏（大谷大学教授）
対　　象：設置者・園長・保育者
参加人数：30 名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3 ポイント付与）

⑦　オンデマンド配信
『真宗保育』の普及・活用を図るため、専用の教材システム（オンデマンド配信プラットフォーム）を活用した研修の充実について検討を進めた。

（２）諸会議に関する事項

研修部会
期日：2026 年 9 月 1 日（月）、2026 年 3 月 17 日（火）
2026 年 5 月 15 日（金）

Ⅱ　幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）
Ⅱ－2　幼児教育及び保育従事者に対する資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を開催した。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の６％ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

2013 年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、一種資格への切り替えや会費未納者に対し、納付促進の取り組みを図った。

また「保育士等キャリアアップ研修」（「障害児保育」・「保護者支援・子育て支援」）の実施団体として、保育心理士資格取得講座を開催した。

（１）保育心理士（一種）資格取得講座・フォローアップ講座

【本部主催資格取得講座】

①【京都会場】保育心理士（一種）資格取得講座

《第 1～5 日程・修了式日程》

開催期日：2025 年 7 月 26 日（土）、7 月 27 日（日）
9 月 6 日（土）、9 月 7 日（日）
10 月 11 日（土）、10 月 12 日（土）

形　　式：対面研修
会　　場：しんらん交流館・真宗大谷派宗務所
そ の 他：京都府保育等キャリアアップ指定

②【e ラーニング研修】保育心理士（一種）資格取得講座

e ラーニング研修（オンデマンド研修・集合型研修（ＺＯＯＭ））の保育心理士取得講座を開催した。

≪オンデマンド研修≫
期　間：2025 年 9 月 15 日から 11 月 30 日

≪集合型研修（ＺＯＯＭ）≫
期　日：2025 年 10 月 4 日（土）、11 月 8 日（土）、12 月 6 日（土）

③保育心理士フォローアップ講座（オンライン）

ア．講　　師：佐賀枝 夏文 氏（大谷大学名誉教授）
講　　題：さまざまな心理療法－現場での考え方と使い方
日　　時：2026 年 5 月 9 日（土）10：00～11：30
参加人数：85 名

イ．講　　師：譲 西賢 氏（岐阜聖徳大学名誉教授）
講　　題：保護者・保育士との円満な人間関係
－コミュニケーションの深まり－
日　　時：2026 年 5 月 9 日（土）13：00～14：30
参加人数：68 名

ウ．講　　師：牧野 桂一 氏（保育心理士会代表・大分こども発達支援研究所長）
講　　題：配慮が必要な保護者の支援のあり方
日　　時：2026 年 5 月 23 日（土）10：00～11：30

参加人数：70 名

エ．講　　師：雫石 弘文氏（別府大学非常勤講師）
講　　題：気になる子どもの支援に係る保護者・若手保育者への対応
日　　時：2026 年 5 月 23 日（土）13：00～14：30
参加人数：65 名

（２）保育心理士フォローアップ講座（エリア・連区・支部）

５年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催した。講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行った。

（３）エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

（４）「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000 円		
二種会員	3,000 円		
賛助会員（個人・法人）	3,000 円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

（５）その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】
期　　日：2026 年 3 月 2 日（月）、3 月 25 日（水）
会　　場：真宗大谷派宗務所

【保育心理士会集会】第 18 回保育心理研究会と併催
期　　日：2026 年 2 月 1 日
会　　場：大谷大学

【保育心理士会幹事会】
期　　日：2025 年 7 月 18 日（金）、2025 年 8 月 27 日（水）
2025 年 9 月 18 日（木）、2026 年 1 月 31 日（土）
2026 年 3 月 12 日（木）、2026 年 4 月 28 日（木）
※4 月 28 日（木）は、研修部との合同会議

② 保育心理士（二種）養成校との協議会
期　　日：2026 年 3 月 25 日（水）
開催形式：オンライン会議（zoom）

Ⅲ　幼児教育及び保育に関する一般社会への啓発啓蒙事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

（１）機関誌等の配布

① 月刊誌『真宗保育』を頒布する。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとした。

② 機関誌『ほいくしんり』（協会編、エイデル研究所発行）を頒布した。

（２）協会ウェブサイト　ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を重ねた。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図った。

（３）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画作品を公募し、すべての応募作品を御正忌報恩講の期間にあわせて展示した。

期　　間：2025 年 11 月 14 日（金）～11 月 28 日（金）正午まで
会　　場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
　　京都駅公益地下ストリートギャラリー
対　　象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児
展 示 数：408 点

（４）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編 CD アルバム（2021 年 11 月発行、全 8 曲収録）をもって完結。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報した。

（５）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

（６）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。（現在、加盟園８ケ園が参加）

（７）諸会議に関する事項

広報部会
期日：2025 年 10 月 2 日（木）、2025 年 11 月 27 日（木）、2026 年 4 月 23 日（木）

Ⅳ　共益事業　加盟園交流事業（相互扶助等事業）

全国支部より参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行った。

（１）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

（２）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

（３）設置者・園長等研修会

全国真宗保育研修大会の前年度に開催し、加盟園間の情報共有と組織拡充を図ることを目的として開催。

対　　象：理事・園長・設置者・後継者
期　　日：2026 年 4 月 14 日(火)から 15 日(水)
講　　師：脇淵徹映 氏（公益社団法人大谷保育協会元理事長・保育心理士認定委員会委員）
講　　師：私の大谷保育協会での歩みとその理念に想うこと
会　　場：稚内総合文化センター・稚内大谷幼稚園・オアシス保育園・
　　真宗大谷派量徳寺
参加人数：29 名

（４）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

（５）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

（６）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月１回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

（７）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士､保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターを制作した。

（８）その他事業

①　表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）
イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）
ウ. 感謝状
　会員の園職員が退職するときは､各園より報告を受け､感謝状を送付した。
エ. 祝電・弔電
　加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送った。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ通知した。

② 入園式・卒園式への祝辞
各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③ 各園での記念式典への感謝状
園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。

Ⅴ　管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）業務を遂行し、組織運営の安定及び諸活動の円滑な実施を支えた。あわせて、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開するなど、当協会の活動を広く社会に周知した。

（１）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行った。

（２）協会ＩＣＴ環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報について、電子公告等により適切に公開し、社会的責任を果たした。また、協会の ICT インフラの維持・運営及び協会保有データの保全に努め、機密性の維持を図るとともに、必要に応じて改善を行った。

さらに、社会的状況を踏まえ、オンラインによる会議、研修、広報等の実施について、各部門が連携しながら試行し、新たな事業展開の可能性を検討した。

（３）採用情報の提供

幼稚園教諭、保育士及び保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校の学生を対象に、協会加盟園の採用情報をポスター及びホームページ等を活用して提供した。真宗大谷派学校連合会加盟校との連携を深めながら事業に取り組み、人材確保の推進に努めた。

（４）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き及び入会手続きの機会を活用し、加盟園情報の正確な収集及び管理を行った。また、定期的に加盟園名簿の更新を行い、情報の正確性の維持に努めた。

（５）常務理事会に関する事項

期日：2025 年 10 月 27 日（月）、2025 年 12 月 23 日（火）
2026 年 6 月 1 日（月）
※2026 年 6 月 1 日は、正副理事長会として開催

（６）役員会等に関する事項

①　理事会に関する事項

ア. 第３４回（事業報告・決算承認）
期　　日：2025 年 8 月 22 日（金）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第１４回定時総会
期　　日：2025 年 9 月 11 日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第３５回（次年度予算・事業計画）
期　　日：2026 年 5 月 12 日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもＷＥＢ会議（ＺＯＯＭ使用）にて開催する。

（７）諸会議に関する事項

①正副部所長会
年間活動計画の策定と活動状況の報告を行った。
期日：2026 年 4 月 14 日（火）

② 総務部会

期日：2025 年 10 月 21 日（水）、2025 年 12 月 8 日（月）
2026 年 3 月 17 日（火）